

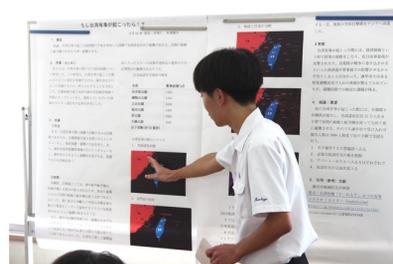
町工場の視点で学校での学びを“社会に”“地元で”役立てる方法を知る 長崎生まれの水質改善のプロと共に 毎年アオコ大発生「池の水」の水質改善に挑む ～6/14 諫早高校にて エビスマリン社による特別出張授業を実施～

長崎県立諫早高校（所在地：長崎県諫早市）は6月14日13時より、水質改善事業を行う長崎市の町工場エビスマリン（所在地：長崎県長崎市、代表取締役：中野浩康）を招き、探究学習の一環として1年生約280名へ特別授業を行います。自分の力で課題を見つけ、解決の道筋を立てていく「探究」の学びや重要視される中、**高校生たちはものづくりの苦労や喜びを通して社会に出た後のリアルな探究を体験**します。舞台は、学校敷地内の御書院庭園内にある池。毎年アオコが大量発生している水質の悪い池で、これまで多くの先輩たちが水質改善の実験を試みてきた場所です。今回、エビスマリン社が開発した**装置の導入を伴う本格的な水質改善実験を通して、科学の面白さや探究の奥深さ、社会貢献へのつながりを伝えます。**



探究学習の舞台 御書院

<https://oniwa.garden/goshoin-garden-megane-bridge-%E5%BE%A1%E6%9B%B8%E9%99%A2%E3%83%BB%7%9C%BC%E9%8F%A1%E6%A9%8B/>

水流発生技術について説明する
エビスマリン横尾工場長

諫早高校生 普段の探究学習の様子

■エビスマリン社 水質改善の取り組みとは



近年、大きな問題となっているアオコや赤潮の大量発生。エビスマリンは薬剤を使用せず、水流を発生させる装置で、長崎県内を中心に、全国・世界のダム・湖沼・溜池・河川の水質改善を行っています。

効果を発生される鍵は「設計」にあるそうです。形がバラバラな自然を相手に、どのように装置を配置したらうまく水流が発生するかを設計するのは至難の技。今回、高校生たちはこの**設計段階から、今後の技術をどのように改良・応用していくかを議論し、実際に装置の導入するところまで体験**します。



実際にダムや池などで使用されている装置の小規模版を御書院に導入する実験を行います

■環境課題・社会課題の解決事例を通して 社会の中での「探究」の奥深さを伝える



諫早高校生 普段の探究学習の様子

諫早高校では、これまで多くの生徒が御書院池を綺麗にするための取り組みを行ってききましたが、良い成果が得られたことはありませんでした。今回、この長年の悩みに挑むため、全国各地・世界で水質改善の成果を上げているエビスマリンの技術をお借りすることになりました。

日本の高等教育において、自ら課題を発見し、仮説検証を経て解決を目指す探究学習が注目されていますが、諫早高校は長崎県内でも探究学習先進校として注目を浴びています。今回の授業では、**エビスマリンの各装置の開発秘話や失敗談、今後取り組みたいことをお伝えいただき、課題解決のためのアイデアを一緒に考えていきます。**

【今回の特別授業概要】

- 日時：2024年6月14日(金) 13:00~15:00 (予定)
- 場所：長崎県立諫早高等学校 (〒854-0014 長崎県諫早市東小路町1-7)
- 授業内容：敷地内の池 御書院の水質改善 エビスマリン社の技術を用いた実践的な探究学習授業

【本件に関するお問合せ先】エビスマリン株式会社 広報窓口 (株式会社LITA 内) 西村・神保

TEL : 070-1598-9424 Mail : nishimura-n@lita-pr.com

■今回実施する特別授業について

今回は、高校1年生約280名が、講義受講と装置導入体験を行います。

生徒は事前学習としてアオコの生態や被害状況などを学び、当日は実際の機器を見ながら環境問題、エビスマリン社の技術等を学びます。また、2コマ目には敷地内の池、御書院に足を運び、小型の水流発生装置ジェットストリーマーを導入して水流が発生する様子を学びます。

また、出張授業の次の週からはエビスマリン社から提示された課題解決のための実践的なワークに取り組みます。

日付	時間	内容（予定）
6/14	13:00~14:00頃	エビスマリン社より、環境問題や水流発生技術に関する講演
	14:00~15:00頃	御書院にて、水流発生装置導入体験・アオコ対策プロジェクト課題発表
6/21	11:00~12:00頃	エビスマリンから出す課題ワーク（学校のみ）
7/12	11:00~12:00頃	エビスマリン社より、オンラインにて課題のフィードバック



◀水流発生技術を応用して、酸欠や有毒ガスが発生しがちなマンホール内の換気装置も開発しているエビスマリン。開発の苦労や大学・下水道局との協働についてお聞きます。

▶技術をうまく活用するには、売り方の工夫も必要。良い技術を持ちながらも倒産したエビスマリン前身のマリン技研を、どのようにして再建・復活させたかを、エビスマリン会長でもある商社社長から学びます。



諫早高校がアオコの発生に悩んでいるとお聞きし、まさにストリーマー技術が役に立つと考え実機での実験を提案しました。複雑な自然相手の設計、課題を発見して改良アイデアを考えるなど、まさに実社会の中で探究の実践の場を提供できるのではないかと考えております。長崎の未来を担う高校生に向けて、様々な役割を担う人が協働してプロジェクトを進める難しさや喜びもお伝えします。（エビスマリン会長/イービストレード社長 寺井良治）



試行錯誤の繰り返しの先に、社会の役に立つものが生まれる、そんなモノづくりの魅力をお伝えしたいと考えています。学生の頃は、日々の学びがどのように社会の役に立つのか想像が難しいものです。学問が社会に生かされ、人の役に立つ過程の実例をお伝えできればと思います。自分が高校生の時に受けてみたかった！と感じるくらい魅力的な授業をお届けできるよう準備を進めています。（エビスマリン工場長 横尾健一郎）



VUCA社会に必要な職業観を養うためには、自分の回りは多くの仕事と探究でできていることを実感することが大切だと思います。今回、エビスマリン様のストリーマー技術に出会ったとき、多くの卒業生が課題研究の中で御書院庭園の池のアオコと戦ってきたことを思い出しました。目の前のアオコ問題を解決する探究活動が多くの仕事や学問とつながり、不透明な将来の解像度を自ら高めていく力になると期待しています。（諫早高校 後田先生/東京財団共同研究員）

【本件に関するお問合せ先】 エビスマリン株式会社 広報窓口（株式会社LITA 内）西村・神保

TEL : 070-1598-9424 Mail : nishimura-n@lita-pr.com

ご返信用紙

エビスマリン広報事務局 (株式会社 LITA 内)

担当：西村 FAX: [03-5801-0975](tel:03-5801-0975) / nishimura-n@lita-pr.com

エビスマリン株式会社

長崎県立諫早高校での特別授業

日時：2024年6月14日（金）13:00~15:00(予定) / 会場：長崎県立諫早高等学校
(〒854-0014 長崎県諫早市東小路町1-7)

メディアの皆さまは12:30までにお越しください

※お車は本校の来客用駐車場をご利用いただけます。

※誠にお手数ではございますが、ご取材いただける場合は6月13日(木)16:00までに上記連絡先までご連絡をお願いいたします。

<input type="checkbox"/> 当日現地取材 / <input type="checkbox"/> 事後取材	
ご取材日 訪問時間	<input checked="" type="checkbox"/> 6/14 (金) 13:00~15:00予定 <input type="checkbox"/> 事後別途日時調整
貴社名/媒体名	
ご所属名	
ご担当者名	(他 名)
TEL/FAX	/
E-Mail	
カメラ	<input type="checkbox"/> スチール / <input type="checkbox"/> ENG / <input type="checkbox"/> デジ (動画)
備考	

【個人情報の取り扱いについて】

本授業のご取材申込みに関する個人情報は当日の出欠確認のほか、今後の取材等についてのご案内以外には使用いたしません。

【本件に関するお問合せ先】 エビスマリン株式会社 広報窓口 (株式会社LITA 内) 西村・神保

TEL : 070-1598-9424 Mail : nishimura-n@lita-pr.com